2023年（令和5年）
第44号
（2月1日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　澤村悦玄
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

今月のことば　～「他人事」を「自分のこと」に～　伏見支部　片山かつえ

２月は伏見支部の片山がお役を頂きました。『「他人事」を「自分のこと」に』を読ませて頂き、今の私にピッタリと思わせて頂きました。

コロナで教会へ行かなくなった３年前に、無理なことをして圧迫骨折をしてしまい、歩くのが難しくなりました。また、人の名前も出て来なくなり、だんだん人生の残りが少なくなって来たと思いました。

会長先生は、釈尊でさえ若い頃にはお年寄りを見て「私にはふさわしくない」と恥じて嫌い、病気の人を見ては「私にはふさわしくない」と悩み、人が死ぬのを見ても同様に悩み恥じ、嫌悪されたと教えて頂きました。しかし釈尊は若さや健康や命を頂いている事に対する「おごり」であったと反省されています。

私も永年、主任のお役を頂き、まだまだ元気で会員さんのお手取りが出来ると思っていましたが、思うように身体が動けず､33 年間のお役を昨年おろして頂きました。今、お役のお陰さまで元気でいさせて頂いたことに気付かせて頂いています。

会員さんで 10 年お手取りをさせて頂いています脊髄損傷のＫさんを通して、なかなか自分の事に出来ない私です。それでも連絡があれば飛んで行き、組長さんとお手伝いをさせて頂いております。先日も入院先の病院から、まだ早いと言われているにもかかわらず、勝手に退院すると連絡があり、組長さんと飛んで行きました。退院する準備に時間がかかり、二人で疲れていたところにＫさんのヘルパーさんにお会い出来ました。そして、これからはヘルパーさんにＫさんの事をお願いすることが出来、安心しました。

現在、私は息子家族と同居していて、以前のように家事とか料理とか出来なくなり、息子夫婦に要求したい気持ちが湧いてきます。それでも今、出来る事を精一杯させて頂けて有難いです。

お役がなくても、今まで通りに人さまとお出会いし、何かお役に立てる私を目指し、感謝と喜びで日々を送れるよう精進させて頂きます。

合掌

あなたのお仕事を教えて下さい　～宇治支部　木崎善弘さん～

Ｑ：仕事先はどちらですか。
Ａ：株式会社シンクス（滋賀県守山市）

Ｑ：どのような仕事内容ですか。
Ａ：精密板金加工という金属加工と鉄工所を混ぜ合わせた様な世界でレーザー加工機などで打ち抜かれた鉄・アルミ・ステンレス系の板を曲げて形状を作成していく仕事です。その時に使用する油圧式プレスブレーキという機械を使って曲げて形を立体形状に造り上げていくのが私の主な仕事です。会社の業務としては、鉄道車輌関係の梁部分や、運転台周りの造形物、高速道路等の情報掲示板のフレーム、各種工作機械や半導体装置のカバー関連など…多種多様なモノを製作しています。恐らく皆様の日常で使っている道具などにも、精密板金加工で創られたパーツが使われています。例えばパソコン、システムキッチン、ATM のフレーム、駅の自動改札機、エレベーターの籠などにも使われています。

Ｑ：仕事中に心掛けていることがあれば教えて下さい。
Ａ：お客様から目に見えない部分であっても決められた公差内に収め、且つ美観を重視したモノ造りをすることと、スムーズに仕事を熟すために、別行程の人達や営業担当、工場長等と綿密にコミュニケーションを図り会社全体の製造の流れを円滑に出来るように心掛けています。また、配属部署の機械類の状況や各人の仕事内容を考慮して、同部署のリーダー格の者と相談し、仕事を割り振ったり、機械のメンテナンス計画、部品・金型・工具などの購入計画を工場長等に提案したりアドバイスをしたりすることも行っています。基本的に、この会社で行っている曲げ加工は一通り出来るようになったので、入社時から約 10 年目に至りますが、成長出来たのではと思います。

←木崎さん担当の機械

令和５年、私たちは「日々感謝　にこにこ元気に出会いたい　ありのままの私から」を実践して参ります。